

1 事業名

「住民参加の公園づくり -南草津プリムタウンの公園中心型コミュニティデザインを目指すための社会実験-」

2 事業概要

新しい街の新しい住民を対象にした健康なコミュニティデザインを促すために、住民の使い勝手の良い柔軟で持続可能な公園のあり方について検討した。2019年からの継続検討課題として、プリムタウン1号公園での新住民による公園デザインに向けたワークショップを開催した。

3 事業内容

※欄が不足する場合は、別紙（A4版縦型）を追加してください。

社会実験の必要性 現代の都市公園の多くは①利用者が少ないことで維持管理ができない、②利用に伴うルールが厳しくて多様な利用に適していない、のような課題に直面していることからプリムタウン公園ではその問題を予め新住民と解決していく必要がある。
実施場所 南草津プリムタウン地区第1号公園予定地、UDCBK、立命館大学都市地域デザイン研究室
実施方法 ワークショップ：住民参加を通じた社会構造デザインワークショップ アンケート調査：住民へのアンケート調査
実施内容 公園デザインワークショップ実施：公園での実践型ワークショップ アンケート調査実施：ワークショップ内容の評価
効果測定の指標等測定方法 アンケート調査を用いた意識調査 ワークショップの結果より公園デザインの重要要素の抽出
対象者や人数 2021年度公園デザインワークショップ：地区住民約60人 アンケート調査票回答：15人ほど
実施のための費用 ワークショップ運営補助のための学生アルバイト費用：約20万円 その他屋外ワークショップ開催のための備品：約7万円等
実現のための課題 継続的なイベントやワークショップの開催と、デザイン結果に対する住民との合意形成の必要性。

※文章を補うために、写真、イラスト、イメージ図を使用することができます。（カラー可）

4 事業のねらい、目標に対する到達度の自己評価

<p>ねらい、目標</p> <p>近い将来、このまちに入居される住民を対象にしたコミュニティデザインを促すための第一歩として、より柔軟で持続可能な公園デザインのあり方について検討した。住民にとってより魅力的で自由な公園・公共空間づくりを目指すことで住民協働・参加につながり、現代日本全国多数のまちで直面している過疎化や空洞化の問題に柔軟に対応し、10年後50年後にも愛され続けるまちづくりに貢献できる可能性が見込める成果としてまとめられた。</p>
<p>到達度の自己評価</p> <p>公園デザインワークショップを通して、地区住民における公園の利用方法や、デザインの方法については理解を得て、住民主体の活用方針に基づくデザイン要素を抽出できた。この結果を実際的设计に落とし込むことがこれからの課題であろう。</p>

※文章を補うために、写真、イラスト、イメージ図を使用することができます。(カラー可)

5 草津市が支援した事項

<p>今回の事業実施にあたり、草津市に依頼した事項について○をつけてください。</p> <p>(○) アーバンデザインセンターびわこ・くさつを研究拠点として提供</p> <p>() 草津市の公共施設の先行予約、施設および附属設備の使用料の減免</p> <p>(○) 公共施設へのチラシおよびポスターの設置依頼</p> <p>(○) 市ホームページ、UDCBKのFacebookでの事業の周知</p> <p>() その他 ※具体的に記載してください</p> <p>(・プリムタウン区画整理組合との連絡調整)</p> <p>(・アンケート調査協力とワークショップ参加への住民呼びかけ)</p> <p>(・ワークショップの運営補助)</p>

6 事業の実施期間

令和 3年 7月 1日 ~ 令和 4年 2月 26日
--